



KUMAMOTO GREEN Rotary-Club bulletin



2014-
2015年度
テーマ

- 国際ロータリー 「ロータリーに輝きを」 R.I.会長 ゲイリー C.K. ホアン
- 地区方針 「ロータリーを学び直し 新たな第一歩を踏みだそう」 R.I.2720地区 ガバナー 小山 康直
- 熊本グリーンR.C. 「ロータリーを知ろう」 熊本グリーンR.C.会長 田中 純司

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
 ■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
 TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：田中 純司 ■幹事：蒼 孝之 ■会報担当：長野 義文
 ■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
 TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgro@io.ocn.ne.jp

国際ロータリー 第2720地区 熊本グリーンロータリークラブ週報

[2015年2月16日]

第1162回
2014-2015年度 第25回
【例会】

1. 開会・点鐘 18:30
2. 食事と交歓

「我等の生業」(ロータリーソング)

来訪者紹介 (田中 純司 会長)

なし

友情の握手

会長スピーチ (田中 純司 会長)

来月の3月20日から22日にかけて地区大会が予定されています。今日の時点での出席者は3名になっています。まだ返事を出されていない会員の方はなるべく出席をお願いします。どうしても出席できない方は登録だけでも結構です。よろしくをお願いします。

今日はクラブ広報委員会の責務についてお話を致します。

◆クラブ広報委員会

クラブ広報委員会は、ロータリーに関する情報を一般の人々に提供し、クラブの奉仕プロジェクトや活動を推進するための計画を立案する。

クラブ広報委員会は、以下の責務がある。

- ・クラブ広報目標を達成する。
- ・RIの支援源について把握する。
- ・クラブの活動を、クラブ会員、メディア、一般の

人々に知ってもらう。

- ・メディアを惹きつけるよう、プロジェクトや活動を改善する。

- ・会員増強にも良い影響をもたらす公共イメージをつくるよう援助する。

- ・他のクラブ委員会との協力

クラブの広報目標を達成するために、以下の委員会と協力が必要である。

- ・奉仕プロジェクト委員会(メディアが関心を示しそうなプロジェクトをクラブが予定しているかどうかを知る)

- ・会員増強委員会(地元で入会の見込みのある会員候補者に焦点を絞って活動を調整する)

- ・ロータリー財団委員会(今後の人道的補助金プロジェクトを把握したり、奨学金受領者に会うなどする)

- ・クラブ管理運営委員会(クラブの例会プログラムに誰が参加しているかを事前にメディアに伝えたり、メディアや一般の人々を惹きつけるクラブのウェブサイトをつくる)

ロータリアンとの協力

広報についてクラブ会員からの支援を得るために、以下を行う。

- ・ロータリーの綱領、プログラムおよび活動に精通する。

- ・交友関係や職業上の知己を通じて、ロータリーの目標と業績を推進する機会を求める。

(クラブ広報委員会の手引きより)

以上「ロータリー情報集」より抜粋

又、先々週2月2日の例会で卓話をお願いしました、平和ITCカンボジア 社長 谷川政敏氏が

卓話
予定

- 2/23 ★熊本グリーンRC創立26周年記念例会
「くまモンと過ごした3年半～たかがゆるキャラ、されどくまモン～」
前 熊本県東京事務所 所長 佐伯 和典 氏
- 3/ 2 ★熊本グリーンローターアクトとの合同例会
「今年度7月～2月迄の活動報告及び今後の活動予定」

[熊本グリーンR.C.ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及ばません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

カンボジアに戻られ、お礼のメールが届いておりますのでここでご紹介致します。

◆谷川政敏氏からのメール

谷川 政敏(谷川@シャムリアップ)です。

その切は卓話者にお招き頂き、心からお礼申し上げます。また、その際の会場写真をお送り頂きました、重ねてお礼申し上げます。

頂いた写真は12-13日、プノンペン観光省での仕事ですので、観光省大臣に貴国のPRをちゃんとやっていますとお見せいたします。

この国には3つのロータリークラブがあり、海外のクラブとの交流やビジネス連携を切望していますので、あれこれ紹介に努めているところですので、大変助かりました。

又、中島会員のご紹介での卓話のご縁で、母(94歳)が貴クラブ会員様の「グループホーム大和様」に、入居が決まりうれしい思いです。どうぞ、これからも変わらぬお付き合いをお願いします。

また、400年前の郷土とカンボジアの歴史交流の軌跡を調べ上げた功績が、今のNTTリタイア後の仕事(観光省顧問職)になっています。是非とも貴クラブでも、郷土の先人たちに習いこの世界遺産アンコールワットの町(シャムリアップ)にお越しください。(あれこれ便宜を図りますので)

取り急ぎお礼まで。

平和ITC カンボジアCO.,LTD(観光庁長官登録旅行業第1741号)

#A4 Charles de Gaulle Road Svay
Dangkum SiemReap City Camodia
TEL: +855(0)63-966-965
FAX: +855(0)63-964-961
H/P : +855(0)78-663-232
Email: heiwaitc.cambodia@gmail.com__

幹事報告 (山下佳介 元会長)

①「華友会日本語教室お別れ会&同窓会」のご案内

1998年より16年間支援を続けてきました「華友会」(中国帰国者の日本語教室)がとうとう最後の生徒さんも卒業された様で解散されます。つきましては、これまでゆかりのあった方や県立大学の学生で講師をされていたOBの方々も集まり「お別れ会&同窓会」が開催されます。お時間がある方は御参加をお願い致します。

日時:平成27年3月15日(日) 11:30~14:00

(短時間の参加でも結構です。)

場所:熊本県立劇場 地階「和室」

■ 例会取止め・変更

<例会変更>

★熊本菊南RC

3月25日(水)の例会は、花見の宴の為、同日18:30より行います。場所は未定です。

<例会取止め>

下記の例会は、定款第6条第1節に基づき、取りやめます。但し、いずれの例会も、サインMU受付は致しません。

[熊本西稜RC] 3月9日(月)

[熊本南RC] 3月30日(月)

出席報告 (葉 高源 会員)

	会員総数	23名	出席率
2月16日	出席免除会員数	1名	54.55%
	計算上会員数	22名	
	出席会員数	12名	
2月2日	前回の出席会員数	14名	63.64%
	メイクアップ数	0名	
	修正出席会員数	14名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
なし			

委員会報告

①「会員3分間スピーチ」

荒木 一之 会員



②「ロータリーの友」2月号内容紹介

報告者:河島 一夫 会員

その他の報告

日にち:平成27年5月17日(日)
場所:ホテルサンルート熊本 3F
「ガーデンシティ熊本」ホール

スマイル (大友 利行 会員)

●田中 純司 君

「本日の卓話者 和田正隆様よろしくお願ひ致します。夏目漱石の話楽しみにしていましたが、所要で早退することをお許し下さい。」

●十時義七郎 君

「江原会の和田様の卓話を楽しみにしておりましたが、どうしても他の会合に出席せねばならず、卓話の時間、退席する事になり申し訳ございません。又、例会も早退する事をお詫びしてスマイル致します。」

●河島 一夫 君

「本日は漱石記念館館長の和田正隆様、漱石についての話を宜しくお願ひ申し上げます。」

●仙波 洋八 君

①「和田先生の夏目漱石卓話を楽しみにしてました。よろしくお願ひ致します。」

②「本日、熊本内科の胃カメラ検査、その他を受けましたが、全て甲種合格でした。近頃の検査は眠っている内に終わってしまうのですね。驚きました。」

●荒木 一之 君

「本日の卓話者 和田様に心から感謝致します。」

●栗山 義則 君、長野 義文 君、大友 利行 君
河野 景治 君、葉 高源 君

①「今夜の和田正隆様の卓話、大変楽しみにしています。」

②「夏目漱石記念館が建つ話は知っていましたが、もう出来上がったのでしょうか？出来ましたら一度訪ねたいと思っています。」

3. 例会プログラム

卓話者

夏目漱石100人委員会事務局長 和田正隆 氏



「漱石とマドンナ」

4. 閉会・点鐘

Rotaryウェブサイトより

ポリオ撲滅のため

世界最高峰に挑む

レイモンドエリア・ロータリークラブ(米国ニューハンプシャー)会員のジョー・プラットさんは、2012年4月、世界最高峰のエベレスト山に登頂しました。その目的は、ポリオ撲滅への募金。しかし、このチャレンジを決めた当初はポリオ撲滅の募金活動を主眼にはしていませんでした。それを一転させたのは、2011年にロータリー仲間のスティーブ・ピュダバーさんと参加したパキスタンでの予防接種活動でした。

ポリオ常在国の一つであるパキスタンでの予防接種活動に感動し、またポリオに感染した子どもたちを目の当たりにしたことで、エベレスト登山の目的を修正したプラットさん。ポリオに感染

した人たちへの思いを込めたワッペンを身につけて登頂に挑もうと考えていたプラットさんに、ピュダバーさんがあるアイデアを出しました。

それは、ワッペンをつけたところで誰も目にしないので、登山の目的をポリオ撲滅のための募金活動とすること。

最初の募金目標額は10,000ドルでしたが、標高の1フィートに1ドルの計算で、29,030ドルに引き上げられました。

23人のロシア人と1人のアメリカ人と共に挑んだ登頂は5週間にもおよびました。強い風と氷点下の気温に耐えながら登る途上で、これまでに同じチャレンジに挑み、命を落としたと思われる人の遺体も目にし、この冒険の過酷さを思い知らされたプラットさんは言います。結局、頂上に辿り着いたのは12名で、残りのメンバーは中棄権しました。



エベレスト登頂を果たしたジョー・プラットさん
写真提供 写真提供:Joe Pratt

(予防接種活動によって)健康になったパキスタンの子どもたち、そして彼らの健全な将来を心に思い浮かべながら、辛い道のりを登り続けたプラットさん。見事エベレストを制覇しましたが、29,030ドルの目標を達成したのは、母国に帰ってからのことでした。

モンタナ州の6つのクラブに招かれ、それぞれのクラブでスピーチを行うようになりました。プラットさんのスピーチを聞いた一人、デイブレイク・カリスペル・ロータリークラブのマイケル・ヘインズさんは、エベレスト登頂にかかった50,000ドルの費用をすべて自分で賄ったというプラットさんの心意気に大きく感銘を受けたと振り返ります。

モンタナ州のクラブ訪問の結果、会員や地元の人たちから11,000ドルの寄付が寄せられ、ゲイツ財団からも23,000ドルの上乗せを受けることができました。結局、プラットさんの活動によって集まった募金は40,000ドルにも上ります。

プラットさんは次のように話します。「これまで、図書館やささまざまな場所でもスピーチしてきました。一人しか聞き手がいないという時もありましたが、私にとってはとても励みになる活動だと思っています」

紛争で荒廃した学校にきれいな水と衛生設備を:コソボでの衛生プロジェクト

コソボ西部の街、ペヤ。山間の街には現在も、1990年代の民族紛争による深い傷あとが残ります。

インフラ設備が少しずつ改善され、新たなビジネスも育ってきていますが、教育面の改善は大きく遅れています。荒廃した学校では、校内衛生の悪化による体調不良や欠席が目立ち、十分に教育を受けられない生徒が大勢います。地元医師のナシャード・アスラニさん(ペヤ・ロータリークラブ会員)は、「健康であればこそ、勉強もできるようになる」と話します。



そこで、ペヤと米国コロラド州のロータリー会員が、グローバル補助金を利用した衛生プロジェクトを実施。劣悪な衛生環境にあった6つの学校に、給水システムとトイレ設備を設置し、雨漏りのする屋根を修復したほか、タイルや浄化槽も取り付けました。

このプロジェクトでは、2008~2009年に水のエンジニアとしてコソボでの復興支援に携わったリチャード・ダングラールさん(エドワーズ・ロータリークラブ会員)がリーダーシップを担いました。当時は、米国政府からのサポートを受けて住居や企業への配管を行ったものの、都市部から離れた学校までパイプを通すことができなかつたため、水は汚染され、トイレもひどい状態だったそうです。そのため彼は、2013年にペヤを再訪し、地元のロータリー会員とプロジェクト計画を立てました。

計画会議では地元市民を含む100人ほどが熱心に参加してくれたとダングラールさんは振り返ります。「紛争で引き裂かれ、世界の発展から取り残された地で、復興に向けた人びとの熱意を感じる事ができました」

今回のプロジェクトでは教育的な取り組みも行われ、生徒たちは、衛生習慣を身に付けるためのポスターを作成し、不衛生な環境で発生する感染症について学習しました。また今後は、地元ロータリー会員が衛生設備の管理に協力し、生徒と教師による保健委員会を設置するほか、衛生に対する認識を地域全体で深めるためのキャンペーンも実施する予定です。

紛争の被害は現在も尾を引いているものの、このようなプロジェクトがあれば、インフラを改善するとともに、市民のハートに再び息吹を吹き込むことができるとアスラニさん。「未来志向のプロジェクトを通じて、以前からの敵対関係も乗り越えていけるでしょう。子どもたちと教育に力を傾けることこそ、未来を見据えていくための最善の方法なんです」